



コンシェルジュ便り

2020.7月号 穂別地区

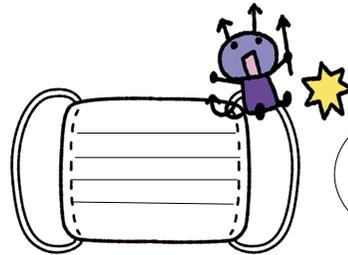
7月に入り、北海道の夏もいよいよ本番を迎えます。毎年、この時期になると熱中症の言葉をよく耳にしますが、今年は特に要注意！暑い中マスクをする
と喉の渇きを感じにくいと、水分不足で熱中症になりやすいと言われていま
す。こまめな水分補給や汗をたくさんかいた時は適度な塩分摂取で元気に暑さ
を乗り切りたいですね。

風邪や花粉対策に限らず、今では必需品となっているマスク。色々なタイプのマスク
が販売されていますが、マスクの表裏の見分け方を知っていますか？逆の状態
で着用するとウイルスや花粉がヒダに溜まりやすくなり、せっかくの効果が下
がってしま

フリースの方向が
一方のタイプ

まう場合もあるので、表裏をしっかりと確認してから着用す
るといいですね。

ゴム紐が接着されている面を内側と思う方
も多いようですが、メーカーによってはゴム
紐の接着面が頬に当たって痛くならないよう
に外側につけているものもあります。マスク
はゴム紐の接着面のみよりもフリースのヒ
ダの向きに注目。下向きになっているのが表
(外側)、上向きになっているのが裏(顔
側)になります。



フリースが
上下に広がる
タイプ

マスクの両面を見比べて、中心
部が盛り上がっている面が表(外
側)になります。

 私事ですが、普通のマスクとどの程度の差があるのだろう？という疑問を抱きつ
つ、夏用マスクを購入してみました。感想としては「通気性が良く息苦しさが少な
い、着けた時にひんやりするのが気持ちいい、何度も洗えて乾きも早いのが助か
る」という感じです。感じ方には個人差があると思いますが・・・一個人としては
「夏用マスク」、オススメです！

赤ちゃんの 言葉の不思議 Q&A



自分の欲求を泣いて訴えることしかできなかった赤ちゃんが少しずつ言葉を話せるようになっていく課程は不思議がいっぱい！その課程での疑問に答えます。

Q: 赤ちゃんはいつ頃から親の話すことを理解しているの？

A: 赤ちゃんはお腹の中にいる時からママの声を聞いています。生後すぐから音と言葉の違いを聞き分けられますが、言葉の意味を理解できるようになるのは8か月頃から。でも、もっと小さな頃からママの表情や言葉の調子からニュアンスを感じとることができます。

Q: 突然、高い声を出したり、大きな声で叫んだりします。お出かけ中だと困ってしまうのですが…。

A: 6～8か月頃になると赤ちゃんは喃語を話したり、大声を出したりしながら発声練習をします。でもまだ声の大きさのコントロールができないし、大声を出してはいけない場所を区別することもできません。仕方ないこととはいえ、外出中だと周りの目も気になってしまいますよね。赤ちゃんの発声にこたえて、気持ちを落ち着かせてあげてください。

Q: 一生懸命話しているけれど、何を言っているのかわからないことが多いです。どう反応したらいいのでしょうか？

A: 赤ちゃんの言葉を聞き取れないことはよくありますね。でも「わからない」という否定的な反応は、話そうとする意欲をそいでしまうかも。赤ちゃんの表情や身振りから推測しながら「○○かな？」「そうだね」「うんうん」と返してみても、たとえ推測が違っていても会話の楽しさを感じられるはずですよ。

Q: きょうだいのいる子のほうが、言葉を覚えたり話したりするのが早いと聞きますが本当ですか？

A: きょうだいの有無で、言葉を覚えたり話したりすることに違いが出ることはほとんどありません。1人っ子でも大人が声かけや語りかけをすれば言葉の発達に影響するようなことはないのだから安心してください。ただ、個人差が大きいものなので待つことが大事な時もありますね。

